

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部浄水課	担当課長名	杉本 博行
(※)第2期実施計画の事業名	浄水施設更新事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3061 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目1施設更新事業の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	浄水施設の長寿命化も図りながら、更新事業を実施するとともに、基幹施設の耐震化を実施する。
事業の対象 (誰を、何を)	古江浄水場、各水道施設
事業の手段・方法 (どのように)	電気、機械設備の更新及び耐震補強の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	1,039,015	424,208	649,539	388,495	153.1%	
主な内訳	施設整備費	912,358	372,495	568,820	320,747	152.7%
	建設改良費	126,657	51,713	80,719	67,748	156.1%
					-	
人件費(人・千円)	0.85 6,290	1.00 7,600	1.05 8,190	1.00 7,800	105.0%	
内訳	正職員	0.85 6,290	1.00 7,600	1.05 8,190	1.00 7,800	105.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	1,045,305	431,808	657,729	396,295	152.3%	
財源	国・府支出金					-
	地方債	456,600	187,800	493,100	240,500	262.6%
	その他(工事負担金)	136,790	55,848	87,176	73,169	156.1%
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	451,915	188,160	77,453	82,626	41.2%	
一般財源比率 C÷A	43.2%	43.6%	11.8%	20.8%	27.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	古江浄水場1,2系耐震補強工事について工事監理業務を委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業が主に民間に発注する工事であり、施設を稼働しながらの施工となるため、既設との取り合い調整等は職員で行う方が望ましい。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江浄水場1,2系耐震工事実施率	%	52	68	100	100	-
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江浄水場1,2系過池更新工事更新率	%	41	60	100	100	-
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江浄水場取水・送水管更生工事	%	-	-	-	-	100
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	伏尾台配水場電気・機械設備更新工事	%	-	-	-	-	17
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		順調に施工が進んでいる							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	工事の工程調整も順調に施工されており、概ね問題はない。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	水処理を行いながらの施工となることから、古江浄水場1,2系耐震補強及びろ過池工事を4カ年とした。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	引き続き施設の更新を予定しており、古江浄水場取水・送水管更生工事を令和元年度に、伏尾台配水場電気・機械設備更新工事を令和元年度～2年度にかけて行う。	
現在抱える課題と対策	課 題	施設の老朽化が進んでおり、一部耐震補強が必要な施設がある。
	対 策	計画的に施設更新、耐震補強の施工を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は、順調に推移している。今後も、施設整備計画に基づき、施設の更新・耐震補強事業を継続していく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部水道工務課	担当課長名	加藤 正和
(※)第2期実施計画の事業名	配水施設更新事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3061 2	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目1施設更新事業の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 ( 水道事業 )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	有収率と耐震化の向上により、収益と災害に対応出来る強固な管路の構築
事業の対象 (誰を、何を)	老朽化した配水管(耐用年数40年以上経過管)
事業の手段・方法 (どのように)	老朽化した配水管を耐震管に布設替する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	元年度 (予算)	H30/H29	
事業費(千円)	411,197	417,787	581,526	565,700	139.2%	
主な内訳	411,197	417,787	581,526	565,700	139.2%	
人件費(人・千円)	0.90 6,660	1.05 7,980	1.05 8,190	1.05 8,190	100.0%	
内訳	正職員	0.90 6,660	1.05 7,980	1.05 8,190	100.0%	
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	-	
	非常勤職員	0	0	0	-	
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	417,857	425,767	589,716	573,890	138.5%	
財源	国・府支出金		29,100	13,000	-	
	地方債	225,300	228,400	472,000	414,500	206.7%
	その他( )					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	192,557	197,367	88,616	146,390	44.9%	
一般財源比率 C÷A	46.1%	46.4%	15.0%	25.5%	32.4%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業計画、工事調整は職員で行う方が望ましい。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	老朽管の更新 (耐震管に更新3~4km/年)	m	3,158	3,909	3,843	4,450	3,790
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	老朽管の残存延長(総延長約60km)	m	41,038	37,129	33,286	32,679	29,496
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				目標の3~4km/年の更新を達成している。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (目標値や事業費の推移に についても言及して記入)	全ての老朽管を更新することが目標であるが、重要施設への供給ルートを優先して耐震化更新することにより災害時の被害を最小限に抑えることができる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度~平成30年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
令和元年度の取組 (平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	更新のスピードを図るため、年度毎の予算を上積みして計上	
現在抱える課題 と その対策	課 題	大口径の幹線管路の更新。
	対 策	代替ルート等、複数ルート化の検討
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は、順調に推移している。今後、補助金を活用しながら優先的に基幹管路の更新を行い、全体的にスピードアップを図るため、事業の拡充が必要と考える。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 水質管理課	担当課長名	工藤 亨
(※)第2期実施計画の事業名	水質検査体制強化事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3062 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目2安全で安定した水の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 ( 水道事業 )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	水質検査体制の強化を図り、市民からの信頼性を高める。
事業の対象 (誰を、何を)	水道水の水質検査
事業の手段・方法 (どのように)	検査担当者の複数化及び水道GLPの維持を行う。 自動水質監視設備により末端給水栓の水質の常時監視を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 21 年度～):水道GLP <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)		88,739		155,865		54		329		0.0%
主な内訳	手数料	54		470		54		329		11.5%
	施設整備費	88,685		155,395		0		0		0.0%
人件費(人・千円)		1.05	7,390	1.05	7,600	0.90	6,630	0.90	6,825	85.7%
内訳	正職員	0.95	7,030	0.95	7,220	0.80	6,240	0.85	6,630	84.2%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.10	380	0.10	390	0.05	195	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		96,129		163,465		6,684		7,154		4.1%
財源	国・府支出金									-
	地方債	45,000		77,600						0.0%
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	51,129		85,865		6,684		7,154		7.8%
一般財源比率 C÷A		53.2%		52.5%		100.0%		100.0%		190.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益者負担がないため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	設備の設計業務を委託
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	日本水道協会により品質管理システム(水道GLP)の審査を受ける立場のため、職員で書類作成等の業務を行う必要がある。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)	
				(実績)	(実績)	(実績)			
指 標 値	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	自己検査項目の拡大	項目	46	46	46	46	47	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	水道GLP中間審査の認定	%	-	-	-	-	100	
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	水道GLP更新審査の認定	%	-	100	-	-	-	
	☆ <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	末端給水栓における自動水質監視設備の設置箇所	箇所	4	9	9	9	9	
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		水道GLPの維持管理は適切に行え、末端給水栓においては全ての給水区域に自動水質監視設備の設置が完了したため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	自己水の比率が高いため、水質検査体制の強化と検査結果の信頼性確保の継続は必要である。効率性については、検査担当者の複数化が完了し、柔軟な検査体制の構築ができていたため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	自動水質監視設備設置工事の工期を見直し、平成29年度に全地点の工事を行うように変更。	
令和元年度の取組(平成30年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	委託検査している水質基準の検査項目を、1項目自己検査に切り替える。	
現在抱える課題と対策	課 題	検査担当者の複数化は完了したが、各検査担当の経験年数が浅いため、技術力の向上が必要である。
	対 策	機器分析に関する外部研修に参加し、技術力の向上を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	成果の達成状況は順調に推移している。今後も、水道GLPの継続と担当者の教育訓練を進め、水道水の安全性確保に努めていく。	

事務事業評価シート(平成30年度実施事務事業)

担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越英樹
(※)第2期実施計画の事業名	水道経営健全化事業	財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	3063 1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第3章人、環境にやさしい安全・安心なまち	
	節	第6節上水道事業の充実	
	項目	項目3持続的な健全経営の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の目的 (どのような結果を得るか)	安定給水と黒字経営の維持
事業の対象 (誰を、何を)	水道事業
事業の手段・方法 (どのように)	経営の健全化策を実施する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 23 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (決算)		元年度 (予算)		H30/H29
事業費(千円)										-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.20	1,480	0.35	2,660	0.20	1,560	0.20	1,560	57.1%
内訳	正職員	0.20	1,480	0.35	2,660	0.20	1,560	0.20	1,560	57.1%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,480		2,660		1,560		1,560		58.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,480		2,660		1,560		1,560		58.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、民間委託範囲の拡大についての検討は可能である。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	28年度	29年度	30年度	目標値 (H30)	元年度 (予定)
				(実績)	(実績)	(実績)		
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	黒字額(当年度純利益)	千円	264,089	318,289	375,903	0	98,000
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				引き続き、黒字を確保したため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				平成27年度から浄水場の夜間運転管理業務を委託化し、平成29年度からは水道料金徴収業務等の委託化、福祉減免制度の廃止を実施し、経営の健全化が順調に推移しているため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成26年度～平成30年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		収益は平成29年度から福祉減免制度の廃止を実施。費用は平成27年度から浄水場の夜間運転管理業務の委託化を実施していたが、平成29年度からは更に水道料金徴収業務等の委託化を実施。
令和元年度の取組(平成30年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		引き続き、業務の委託を継続していく。
現在抱える課題とその対策	課題	水道施設の耐震、更新需要の増。
	対策	経営戦略の策定、アセットマネジメントの手法を導入。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(令和2年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		黒字経営ではあるが、今後人口減少や事業費の増加等厳しい状況が予想されるので、平成30年3月に策定した経営戦略に基づいて事業を遂行し、今後も効率的な事業経営を継続していく。